

千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」の文部科学大臣表彰の受賞について

千葉市で実施している家庭教育支援基盤形成事業において結成された千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」が、令和5年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰を受けましたので報告します。

1 表彰の趣旨

全ての保護者が安心して家庭教育を行えるよう、地域における家庭教育支援活動の一層の推進を図るとともに、「家庭教育支援チーム」の優良事例の広報、研究の進展および認知度の向上に資するため、特色ある優れた活動を行っている「家庭教育支援チーム」に対し、その功績をたたえ、文部科学大臣が表彰するものです。（平成29年度から隔年で実施、今回で4回目）

2 被表彰活動数

20活動（千葉県内は2活動）

3 表彰日

令和6年2月9日（金）

4 被表彰活動内容

千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」

結成 平成20年度 構成員数 8人

活動拠点 園生小学校 活動地域 小中台中学校区

5 被表彰に至った経緯

子育てに関する学習機会の提供、子育てに関する悩みや家庭教育の相談の対応、新たな地域人材の養成など、その活動内容が他の活動と比較して顕著に優れていて、地域全体への普及効果が高いと認められ、当該地域における家庭教育支援活動の推進に効果をあげていることが評価されました。

（1）背景

地域社会のつながりが希薄化し、子育ての悩みや不安を抱えたままの保護者が孤立してしまうことなどが心配されている中、地域全体で家庭教育を支援する持続可能な仕組みの一つとして、子育てサポーター、臨床心理士、保育士、民生委員、主任児童委員等の地域の人材で構成した千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」が結成されました。

（2）主な取り組み内容

「地域における家庭教育基盤形成」を自分たちの地域の課題であると位置付け、子育て学習講座として「子育て親育ち講座」の開催、子育てに関する悩み相談に対応する「こもんず広場」（子育て井戸端会議）と「こもんずカフェ」（個別相談）の開催、子育てに関わる地域人材などの情報収集・ネットワーク化などを行っています。

また、公民館と連携して成長期の女の子の心と体の変化について知る「ツボミスクール」や、性教育講座などを意欲的に開催しています。

性教育講座やツボミスクール等の講座



就学時健診講座



マインドフルネス講座

参加者の声・感想

- ・まだ小2なので先の話などは思いますが、知識として知っていて無駄なことは無いと思う。とても勉強になった。
- ・話を聞いてから、自分が学んだことを早速娘に話してみた。親子で下着や体臭の変化などについて話すきっかけを持つことができた。
- ・今年中学に入学する小学校6年生の男の子です。何をしたらいいのか、特に女性なので性についての関わり方が本当にわかりません。今までは何もしてきませんでした。学校でどんな事を教えていてこれから思春期になり効果などに巻き込まれないようにするのにも性についてどう教えて関わっていけば良いのかわかりたいです。
- ・我が家には娘と息子がおります。男女で話す内容の違いや気をつける点などがあれば教えていただきたいです。

地域協力者会議 相談活動

【地域協力者会議】学校、PTA、青少年育成委員会、保育所や幼稚園、公民館、保健福祉センターなどの代表に参加いただき、子どもや子育て家庭の状況や各団体の取組みについて率直な意見交換や教育・保健福祉現場の情報共有を図る。

【相談活動】「こもんず広場(子育て井戸端会議)・こもんずカフェ」を月に1回実施している。参加者が新しい関係を築きながら気軽に話すことができる。子育ての悩みや不安を持つ保護者を対象に、個別相談も実施している。

メンバーのつぶやき

子育てに心配はつきものです。我が家にも小・中学生の子どもがいますが、学校に行きたくないや休みがちになり心配だった時、『こもんず広場』で話を聞いてもらって気持ちが少し軽くなりました。「うちの子だけじゃないんだ。」とか「うちでもそうしてみよう!」と、少し安心できるかもしれません。



地域協力者会議



ツボミスクール



子供の本を読む会

成果と今後の展望

成果

- ・オンラインセミナーを実施し、講座の実施方法の幅を広げることができた。
- ・子育てに関わる、学校・公的機関・地域団体との連携はかかれた。
- ・公民館との共催行事を計画し充実させることができた。
- ・チームに対する認知度や理解が年々高まってきた。

今後の展望

- ・個別相談の在り方について検討をすすめていく。
- ・参加できない保護者に対する支援を可能とする取組の充実。
- ・地域の家庭教育支援を支える人材の発掘と育成。
- ・多様な家庭や地域の実態の把握及び地域諸団体との情報共有。
- ・小中台地域における、家庭と子育て・家庭教育支援に携わる各種団体をつなげる「協働の核・コーディネート組織」としての価値の向上。
- ・支援効果の検証とチーム全体での研修。